

# 第1章 計画の基本的事項

## 1. 計画策定の背景

昔から私たち人類は、水・土・空気・動植物などの豊かな自然からさまざまな恩恵を受けて生活を築いてきました。

ことに私たちの住む篠山市は、清らかな水や肥沃な大地、澄んだ空気など豊かな自然環境に恵まれており、我々市民の多くはこの環境が、永遠に残ってほしいと願っています。

しかしながら、近年の社会経済の飛躍的な発展は、人間の生活様式を大きく変化させ、物質的に豊かで便利な暮らしをもたらす一方、大量生産・大量消費の生活様式は深刻な環境破壊を招き、生態系に変化をもたらすなど環境に大きな影響を与えてきました。

そして、現在地球規模で起こっている温暖化をはじめとした環境破壊は、一見するとすばらしい自然に恵まれた篠山でもすでに起こっており、我々篠山市民にとっても他人ごとではなくなってきています。

また、護岸や河床がコンクリート化された河川では子どもたちが遊ばなくなり、安価な輸入木材の流通等の影響により経済林としての価値が低下した森林は、人に利用されなくなるなど人が自然と隔離され、一部の自然の荒廃を招く結果となっています。

篠山市環境基本計画は、この篠山市の恵まれていた自然を回復し、守り育てることで、より良い環境を子どもたち、そして将来の世代につないでいくために、今、とらなくてはならない行動を示すことを目的として策定するものです。



丹波霧の雲海

## 2. 計画の役割

この計画は、以下の3つの役割を担います。

### 環境の望ましい将来像についての共通認識を示します

篠山市の環境が将来にわたり、どのようになっているとほしいか、またどのようにしたいか、を明確に表し、環境の望ましい将来像についての共通認識を持つためのものです。

### 施策の推進の方向性を示します

個別に実施する環境関連施策を体系化して、総合的に推進するための方向性を示すためのものです。

### 一人ひとりの環境意識の高揚と行動を促します

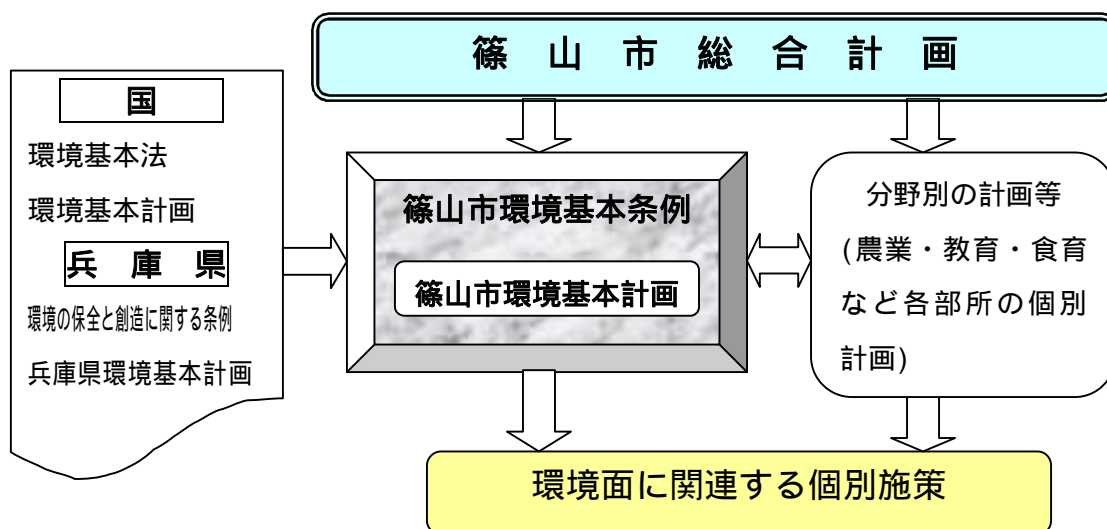
現在の環境の保全と、よりよい環境の創造には市民一人ひとりが環境に対して意識を持つことが重要となってきます。この計画では、市民・事業者・市がそれぞれに、また一体となって取り組むための基本的な考え方を示すためのものです。

## 3. 計画の位置づけ

この計画は、篠山市における環境の保全と創造に関して、基本的な考え方やめざす環境の将来像、具体的な取り組み内容を示すことを目的として、行動計画を盛り込んだ内容で策定したものです。

また、「篠山市総合計画」にある環境の保全に関する施策や、本市がこれまでに策定した様々な個別関連計画や施策との連携・整合性を図りながら総合的に環境保全の取り組みを実施していきます。

### 【 相関図 】



## 4 . 計画の対象範囲

---

「環境」という言葉は、一番身近な生活環境、また大きな視点では地球環境など、今やさまざまな分野に広がりを見せ、一口には表すことができないものとなってきています。

この計画では、そのような「環境」のうち、次のような範囲を対象とします。

森、川（水）、生物（動植物）などの自然環境  
学校や地域での学習、体験、意識改革などの環境教育  
低農薬、地産地消、安心な食べ物などの農業に関連する環境  
廃棄物抑制、エネルギー、水環境などの生活に関連する環境

## 5 . 計画の期間

---

この計画の期間は、平成22年（2010年）度から平成31年（2019年）度までの10年間ですが、策定後5年で見直しすることとし、また本市を取り巻く環境や社会的状況の変化などを踏まえ、適宜見直しを行います。



クリンソウ群生地

## 6 . 計画策定の基本方針

この計画を策定し、推進するにあたっての基本的な考え方は以下の3つのとおりとします。

### 市民の視点からの計画にします

この計画を策定するにあたり、市民のみなさんの想いを反映するため、参加者公募型の「市民ワークショップ<sup>1</sup>」を開催しました。

その市民ワークショップは、平成20年(2008年)7月から平成21年(2009年)6月まで合計19回開催し、篠山市の環境の現状や取り組む分野、めざす将来像や重点的な行動の内容までを話し合いました。

また、推進にあたっても、市民の参画なくして効果的な推進は成しえないため、市民の視点から計画を実効性あるものにしていきます。

### 篠山らしい計画にします

篠山らしい環境特性として、第一に挙げられるのは豊かな自然環境であると言えます。

広大な市域の約70パーセントを占める森林は市の周りを囲み、そこから流れ出る清流、そして平地には農地が広がり水の恩恵を受けています。

盆地特有の気候風土は、篠山市の特産物である丹波黒大豆や山の芋など多くの農作物を育んできました。

篠山市の環境を守り育てること、それには人間と自然がうまく調和し、共生していくことが欠かせません。

### 将来も見据えた計画にします

今、私たちが生活している篠山市の環境は、先人から受け継がれてきたものです。

その環境を守り、育て、それを子どもたちに引き継ぐことを目指して、この計画の内容は話し合われました。いわば、今現在は過去と未来をつなぐ「環(わ)」の一部です。

そのことを、一人ひとりが認識し行動することこそ、策定するにあたっての願いであり、市民の責務であると言えます。

<sup>1</sup> ワークショップ：住民が地域の課題等について話し合う、まちづくりにおける合意形成の手法のこと

## 篠山の四季



春（桜）

夏（新緑）



秋（紅葉）

冬（雪景色）

